

みずほCustomer Desk Report 2023/08/16 号 (As of 2023/08/15)

金融市場部 為替営業第二チーム

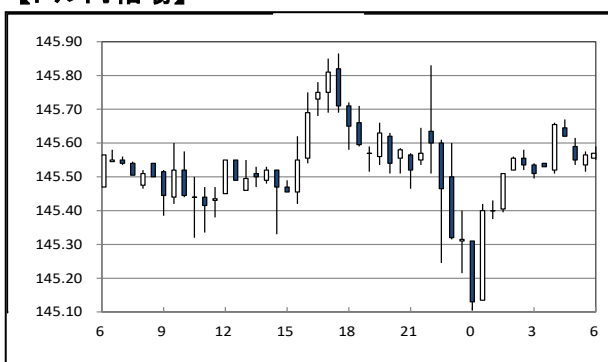
【昨日の市況概要】				公示仲値	145.60
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	145.44	1.0908	158.67	1.2686	0.6489
SYD-NY High	145.86	1.0952	159.30	1.2753	0.6521
SYD-NY Low	145.11	1.0896	158.56	1.2680	0.6452
NY 5:00 PM	145.57	1.0904	158.73	1.2702	0.6456
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,946.39	▲ 361.24	日本2年債	0.0200%	0.0000%
NASDAQ	13,631.05	▲ 157.28	日本10年債	0.6200%	0.0100%
S&P	4,437.86	▲ 51.86	米国2年債	4.9565%	▲0.0147%
日経平均	32,238.89	178.98	米国5年債	4.3760%	0.0055%
TOPIX	2,290.31	9.42	米国10年債	4.2179%	0.0177%
シカゴ日経先物	31,950.00	▲ 365.00	独10年債	2.6760%	0.0395%
ロンドンFT	7,389.64	▲ 117.51	英10年債	4.5880%	0.0265%
DAX	15,767.28	▲ 136.97	豪10年債	4.2570%	0.0620%
ハンセン指数	18,581.11	▲ 192.44	USDJPY 1M Vol	9.38%	0.01%
上海総合	3,176.18	▲ 2.25	USDJPY 3M Vol	9.81%	0.09%
NY金	1,935.20	▲ 8.80	USDJPY 6M Vol	9.56%	▲0.02%
WTI	80.99	▲ 1.52	USDJPY 1M 25RR	▲0.60%	Yen Call Over
CRB指数	274.30	▲ 3.79	EURJPY 3M Vol	9.80%	0.05%
ドルインデックス	103.21	0.02	EURJPY 6M Vol	9.79%	0.06%

東京	本邦4-6月期のGDP速報値が前年比6.0%増と市場予想を上回るも影響は限定的となる中、東京時間は145.44レベルでオープン。日中はお盆休みで市場参加者も少なく、145円台半ばで推移。その後、本邦当局による円安牽制発言が見られたものの値幅は限定的となった。結局145.55レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.55レベルでオープン。ドル金利が引き続き上昇する中でドル高継続。一方で中国のサプライズ利下げを嫌気し欧州株が下落する中で円高も並行。変わらずの145.55レベルでNYに渡った。なおロシア中銀が緊急会合で3.50%の利上げを行ったが、既に織り込んで対ドルで100を割り込んでいたルーブルは売られた。
ニューヨーク	海外市場では中国がサプライズ利下げをしたことや、鉱工業生産、小売売上高が予想を下回ったことから、リスク回避の動きに円が買われる一方米金利上昇を受けたドル買いに145.86まで上昇し、145.55レベルでNYオープン。朝方は、8月NY連銀製造業景況指数が予想以上に悪化した、米7月小売売上高が大きく予想を上回り、再び145.83まで戻す。しかし上昇していた米金利が反落する動きや、年内の追加利上げ期待がやや強まったことに加え、中国景気に対する懸念から米株市場が軟化する動きに145.11まで反落する。午後は、米金利が再び上昇する展開にドル円は145.67まで戻し、145.57レベルでクロスした。一方、ユーロドルは中国の利下げを受けリスク回避から一旦1.0901まで下落するが、その後はユーロ円が下げ渋る展開に下値をサポートされ1.0929レベルでNYオープン。朝方は、米小売売上高結果を受けたドル買いに1.0896まで反落するが、上昇していた米金利が低下に転じたことから1.0952まで戻す。午後は米金利が再び上昇する展開にドル買いが優勢となり、ユーロドルは上値を抑えられ1.0904レベルでクロスした。

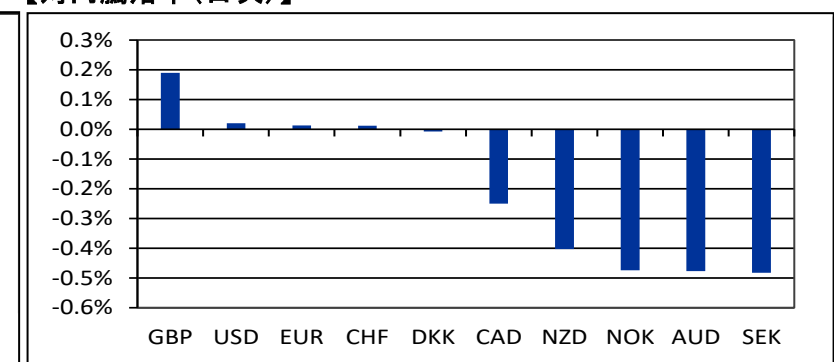
【昨日の指標等】						
Date	Time	Event	結果	予想		
8月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	2Q	6.0%	2.9%	
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	7月	3.7%	4.3%	
	11:00	中 小売売上高(前年比)	7月	2.5%	4.0%	
	13:30	日 鉱工業生産(前年比)・確報	6月	0.0%	-	
	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	6月	7.8%	7.4%	
	18:00	独 ZEW景気指数 期待/現状	8月	-12.3/-71.3	-14.9/-63	
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	8月	-5.5	-	
	21:30	米 小売売上高速報前月比/除自動車	7月	0.7%/1%	0.4%/0.4%	
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	8月	-19	-1	

【本日の予定】						
Date	Time	Event	予想	前回		
8月16日	15:00	英 CPI前年比/コア	7月	6.7%/6.8%	7.9%/6.9%	
	18:00	欧 GDP速報 前期比/前年比	2Q	0.3%/0.6%	0.3%/0.6%	
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月	0.0%	0.2%	
	21:30	米 住宅着工件数	7月	1450k	1434k	
	21:30	米 建設許可件数	7月	1463k	1441k	
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	7月	0.3%	-0.5%	
8月17日	03:00	米 FOMC議事要旨(7/25-26分)	-	-	-	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.00-147.00	1.0800-1.1000	157.00-160.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は145円半ばを挟んでのもみ合いとなった。欧州時間に入ると、米金利の上昇を受けてドル/円も145円台後半まで上昇。一服後は145円半ばまで戻して伸び悩んだ。NY時間に入ると、米・7月小売売上高が予想を上回る結果となり、ドル/円は再び145円台後半に急伸するも、続いて発表された米・8月NY連銀製造業景況指数が予想を大きく下回ったことで145円台前半まで反落しやや神経質な値動きとなった。その後は米高官の発言にて利上げの完了や追加利上げの可能性を否定する発言が見られなかったことなどからドル買いが優勢となり、ドル/円は再び145円半ば付近まで値を戻してクローズした。

本日もドル/円は145円台を中心にもみ合いの値動きを予想。基本的にはドルが堅調推移すると考えているが、今晚にFOMC議事録の発表を控えて値幅は限定的となりそう。7月FOMC会合で利上げが再開されたことで、今晚発表される議事録では利上げ継続姿勢が確認できると予想される。一方で、金利据え置きや利下げに関する意見によってはドル売りに転じる可能性も否定できず、日中は動きづらい相場展開となるのではないかと。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・田川